



2026年8月14日

各 位

東京都渋谷区東一丁目26番30号
会社名 株式会社 W I Z E
代表者名 代表取締役CEO 藪 考 樹
(コード番号: 3664 東証グロース)
問合せ先 取締役管理管掌 知久 峻 輔
(TEL.03 - 6820 -4191)

2026年12月期通期連結業績予想の公表に関するお知らせ

当社は、2026年2月13日に公表しました「2025年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」において、2026年12月期通期の連結業績予想を「未定」としておりました。

しかしながら、社内外の有識者によるアナリストチームの組成と独自の価格予測モデルの構築により、暗号資産ソラナ（SOL）の価格前提を当社自身の分析に基づいて置くことで連結業績予想を公表することといたしました。加えて、ステーキング報酬およびバリデータ報酬が実績値として積み上がり、ソラナ事業の運用収益についても一定の精度をもって見通せる段階に至っております。

これらを踏まえ、現時点で一定の前提を置くことにより合理的な算定が可能となりましたので、下記のとおり通期の連結業績予想を公表いたします。

記

1. 2026年12月期（2026年1月1日～2026年12月31日）の連結業績予想について

	売上高	営業利益	経常利益
	百万円	百万円	百万円
前期実績（A） （2025年12月期）	2,808	△328	△433
当期業績予想（B） （2026年12月期）	2,775	△274	+105 ～ +170
増減額（B－A）	△33	+54	+538 ～ +603
増減率（％）	△1.2	－	－

(注)

1. 本予想は、当社の事業構造の転換の進捗を示す指標として、売上高、営業利益および経常利益について記載しております。なお、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、暗号資産の期末評価に伴い生じる課税所得に対する繰越欠損金の充当額および税効果会計の適用範囲を検討中であり、その確定までに時間を要するため、開示を見送ります。当該数値につきましては、確定が出来次第、速やかに開示致します。
2. 本予想には、IP 投資育成事業における営業投資有価証券の譲渡益を含めておりません。譲渡が実現した場合には、速やかに開示いたします。
3. 本予想は、下記「3. 業績予想の前提条件について」に記載の前提に基づき算定したものであり、当該前提が変動した場合には、実際の業績が本予想と大きく異なる可能性があります。
4. 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の仮定に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。参考に、現在のソラナ価格（2026 年 8 月 13 日終値）1 SOL あたり 12,154 円で算定すると、経常利益は△381 百万円となります。その他、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 通期連結業績予想の公表に至った理由について

(1) これまで業績予想を「未定」としていた理由

当社は、2026 年 2 月 13 日公表の「2025 年 12 月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」において、2026 年 12 月期の連結業績予想を「未定」としておりました。その理由は、次の 2 点によるものです。

- ① IP 投資育成事業における営業投資有価証券について、譲渡を目指すものの、その成立および時期の見通しが立てにくい状況にあり、譲渡の成否・タイミングによって損益への影響が相対的に大きくなり得るため、予想と実績の乖離が生じる可能性があったこと
- ② 暗号資産は価格変動が大きく、将来の価格動向を合理的に見積もることが困難であり、期末時点の市場価格により評価損益が大きく変動すること

(2) 業績予想の算定が可能となった理由

① 価格前提を当社自身の分析に基づき導出する体制を確立したこと

当社は、社内外の有識者によるアナリストチームを組成し、独自の価格予測モデルを構築いたしました。同モデルは、ソラナ・ネットワークの実需と価格の関係を過去の実測データから捉える内部要因分析、ビットコインをベンチマークとする外部要因分析、および両分析の結果を照合して価格前提のレンジ（上限・下限）を確定するアナリストチームの見解という 3 軸により構成されており、各軸の前提数値は継続的に更新しております。

これにより、外部機関の予測を引用するにとどまらず、当社自身の分析として、一定の合理性を

もって価格前提を導出し、その過程をお示しすることが可能となりました。具体的な導出方法は下記「3.（1）暗号資産ソラナ（SOL）の価格前提」に記載しております。

② ソラナ事業の収益実績が蓄積され、将来の見通しが可能となったこと

2025年10月24日のソラナ・トレジャリー事業の開始から9か月が経過し、ステーキング報酬は累計855.04SOLに達しております。また、Solana財団公式バリデータプログラム（SFDP）に採択され本格運用を開始した「WIZE Validator」の運用総量は206,170SOLまで拡大しております（2026年8月7日時点）。一定期間の運用実績が蓄積されたことにより、保有数量と運用利回りに基づき、将来の運用収益を合理的に見積もることが可能となりました。

③ 既存事業の利益が売上高の変動を受けにくい構造となったこと

連結売上高の大半を占める株式会社ゆとりの空間は、2019年10月のグループ参画以降の事業変革により、営業利益が2020年12月期の1,457万円から2025年12月期には7,610万円へと約5.2倍に増加しております。同期間の売上高は26億円から28億円の水準で推移しており、売上規模の変動によらず利益を確保できる構造となったことから、既存事業の利益見通しの精度が高まっております。

④ 変動要因を予想から切り離したこと

IP投資育成事業における営業投資有価証券の譲渡につきましては、その成立および時期の見通しが立てにくい状況に変わりはありません。予想と実績の大きな乖離を生じさせないという当社の方針を維持するため、本予想には譲渡益を含めないこととし、当該変動要因を業績予想から切り離しております。営業投資有価証券の譲渡に向けてのプロジェクトは現在も進行中であり、譲渡が実現した場合には、速やかに開示いたします。

（3）業績予想を公表する意義について

当社は、株主・投資家の皆様との建設的な対話に資する情報開示の充実を、上場企業としての重要な責務と認識しております。

暗号資産市場には依然として一定の価格変動性が存在し、引き続き注視が必要であるものの、現時点で入手可能な情報と合理的な仮定に基づき、当社の収益構造と今後の見通しを市場にお示すべく、通期連結業績予想を公表することといたしました。

3. 業績予想の前提条件について

（1）暗号資産ソラナ（SOL）の価格前提

当社は、2026年12月期末におけるSOL価格の前提を、1SOLあたり123米ドル～129米ドル（1米ドル158.82円換算で約19,500円～約20,500円）と置いております。本前提は、当社が独自に構築した価格予測モデルにより導出したものであり、その概要は以下のとおりです。

① 内部要因分析

2023年1月から2026年7月までの43か月間について、ソラナ・ネットワークの月間収益（チ

チェーン本体および同チェーン上のアプリケーションが利用者から得た収益の合計)と SOL 価格の関係を実測データに基づき分析いたしました。両者の関係から導かれる回帰線を用いて、実需が正当化する価格水準を約 128 米ドルと算定しております。

② 外部要因分析

SOL との相関が最も高い暗号資産であるビットコイン (BTC) をベンチマークとし、アナリストチームが、BTC 価格の変動が SOL 価格に及ぼす影響を推計する独自のモデルを構築いたしました。同モデルにおいて、Standard Chartered、21Shares、Citi の 3 機関が公表する BTC 目標価格 (注 4) の中央値である 100,000 米ドル各機関の公表時期および対象期間を勘案のうえ、2026 年末時点の前提として採用し、過去 6 年間の値動きおよび公開データ 41 種類を用いた試算を行い、2026 年末の SOL 価格を約 131 米ドルと算定しております。

③ アナリストチームの見解

当社アナリストチームは、上記①②の分析結果が近接した水準を示しており整合的であることを確認のうえ、その中間値を当社の論理値とし、これを上回る水準を見込む合理的な根拠は認められないとの判断から、論理値をそのまま上限として設定いたしました。下限につきましては、地政学的リスクおよび金融政策の動向等を踏まえた当社アナリストチームの見解を反映し、当該論理値に一定の掛目を乗じて保守的に設定しております。(注)

1. 為替レートにつきましては、1 米ドル 158.82 円 (2026 年 1 月から 7 月までの平均) を前提としております。
2. 本前提は、将来の暗号資産価格を保証または予測するものではなく、現時点で入手可能な情報および当社独自の分析に基づき、業績予想を算定するために置いた条件であります。
3. 当社のアナリストチームは、当社が価格分析のために組成した社内体制であり、金融商品取引法上の投資助言・代理業等に該当するものではありません。また、本前提は特定の暗号資産の取得等を推奨するものではありません。
4. ②に記載の各機関の目標価格および公表時期は以下のとおりであります。

・ Standard Chartered : 100,000 米ドル :

<https://www.theblock.co/news/markets/2026-07-10-communication-challenge-nothing-more-standard-chartered-keeps-100000-bitcoin-target-calls-strategy-selloff-a-signaling-problem-407884>

・ 21Shares : 100,000 米ドル

https://cdn.21shares.com/uploads/current-documents/reports/21shares_State-of-crypto-17_Mid-year-check-in.pdf

・ Citi : 82,000 米ドル

<https://www.coindesk.com/markets/2026/07/01/citi-slashes-12-month-bitcoin-ether-targets-as-etf-flows-dry-up>

(2) 保有数量および暗号資産評価損益について

当社が保有する暗号資産につきましては、四半期ごとに時価評価を行い、その評価損益を損益計算書に計上しております。本予想は、2026年7月14日時点の保有数量 66,458.07877434SOL を基礎とし、期中に受領を見込むステーキング報酬等を加算して算定しております。追加取得による保有数量の増加は、保守的な観点から本予想に織り込んでおりません。

	期末想定保有 数量	帳簿価額	下限前提 (約 19,500 円 /SOL)	上限前提 (約 20,500 円 /SOL)
	SOL	百万円	百万円	百万円
ソラナ (SOL)	約 68,029	943	1,326	1,391
暗号資産評価損益	—	—	+383	+448

(注)

- 2026年7月14日時点における当社の累計取得額は 1,000,399,624 円、平均取得単価は 15,053 円であります（2026年7月14日公表「ソラナ (SOL) の取得状況に関するお知らせ」参照）。
- 帳簿価額は、2025年12月末時点の帳簿価額に、2026年12月期中の取得価額および運用報酬として受領した暗号資産の取得価額を加算して算出しております。

(参考) 当社がソラナを購入開始してからの各月の月末のソラナ価格推移

年月	SOL 価格 (月末)
2025年10月	28,828 円
2025年11月	20,826 円
2025年12月	19,527 円
2026年1月	16,317 円
2026年2月	13,165 円
2026年3月	13,182 円
2026年4月	13,035 円
2026年5月	13,114 円
2026年6月	11,957 円
2026年7月	11,459 円

(出典) CoinMarketCap (各月末日の終値)

（３）ソラナ運用収益について

当社は、保有する SOL のステーキングによる報酬に加え、自社運営のバリデータ「WIZE Validator」において第三者からの委任を受けて運用を行い、運用成果に応じた報酬を得ております。ステーキング年率を 5.4%（取引所手数料控除後の想定）とし、バリデータ報酬については過去実績を起点とした成長予測を前提として、2026 年 12 月期におけるソラナ運用収益を 36 百万円～37 百万円 と見込んでおります。

当該運用収益は暗号資産の価格変動とは別に継続的に発生するものであり、保有数量が継続的に増加する構造となっております。

（４）既存事業について

ライフスタイル IP 事業を中心とする既存事業につきましては、当第 2 四半期連結累計期間の実績を踏まえ、下半期は前年同期と同水準で推移するものと見込んでおります。

4. 今後の方針について

当社は、2026 年 12 月期を、ソラナを基盤とする事業構造への転換が本格化する重要な事業年度と位置付けております。

既存事業の安定した収益基盤と、ソラナ・トレジャリー事業およびバリデータ事業による新たな収益機会を組み合わせることで、収益構造の転換を進めてまいります。

また、株主・投資家の皆様に対しましては、保有暗号資産の状況、運用収益の推移、および各事業の KPI の進捗等について、継続的かつ透明性の高い情報開示に努めてまいります。

なお、暗号資産の価格はマクロ経済環境および市場動向により大きく変動する性質を有しております。当社は、内部統制およびリスク管理体制を適切に運用しつつ、前提条件については継続的に検証を行い、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

（※）ソラナ（Solana）とは、高速なトランザクション処理と低コストを特長とする分散型ブロックチェーンプラットフォームの名称であり、SOL とはソラナブロックチェーン上で使用されるネイティブ通貨であります。日本においてはプラットフォーム名と通貨名を総称して「ソラナ」と呼称することが一般的であるため、本開示資料においてもソラナ（SOL）と併記することとします。

以 上